



2021 2月号

発行所 日本聖公会 横浜教区教務所 千221-0852 横浜市神奈川区三ツ沢下町14-57 TEL 045-321-4988 FAX 045-321-4978 発行人 入江 修 1部 55円 千別

被献日(二月二日)

ルカによる福音書第二章二二―四〇節

ヌンク・デイミテイス

司祭 バルナバ 田澤利之

被献日の福音書は次のように始まります。「モーセの律法に定められた彼らの清めの期間が過ぎたとき、両親はその子を主に献げるため、エルサレムに連れて行った。」...

めで生まれる男子は皆、主のために聖別される」と書いてあるからである。...

て行き、祭司に渡す。」(レビ記十二章六節)とあり、「なお産婦が貧しくて子羊に手が届かない場合には、二羽の山鳩または二羽の家鳩を携えて行き、一羽を焼き尽くす献げ物とし、もう一羽を贖罪の献げ物とする。」...

り、神を讚美したのです。一人はシメオンという老爺。もう一人はアンナという老婆。この二人が、他の子どもではなく、イエスに近寄ってきて神をほめたたえたというのです。シメオンは歌います。「主よ、今こそあなたは、お言葉どおり、この僕を安らかに去らせてくださいませ。わたしはこの目であなたの救いを見たからです。」...

千葉復活教会牧師 福田聖公会管理牧師



十主教 イグナシオ

昨年の大晦日、東京では一三〇〇人、神奈川で五八八人の新規感染者が出て過去最多を記録し、一都三県に緊急事態宣言が発令されようとしています。感染拡大の収束を祈ると共に、見えない繋がりの大切さ、そしてその豊かさを思います。主教館の周囲の木々は、今はすっかり葉を落とし、冬景色です。落ち葉も終わり、何となく手持ち無沙汰です。確かに落葉掃きは楽ではないのですが、二年目になつて新しい楽しみを発見しました。それは、主教館の下の道を通つて行く子どもたちです。朝の礼拝が終わつて家のゴミ出しをした後、朝八時前の時間帯には小学生が何人か通ります。日によって朝食を済ませた後の時間帯に掃いていると、保育園や幼稚園の園児が親御さんといっしょに通ります。通る人にはできるだけこちらから声掛けをするようにしていたのですが、最初は恥ずかしそうにしていた子どもたちが、最近では、「おはようございます」と答えてくれるようになりました。私が気付かずには掃いていると、向こうから声を掛けてくれる人もいます。「行つてらっしゃい」、「今日は寒いですね」などと言葉を交わすこともあります。特に、子どもたちとの朝の挨拶には、却つてこちらが元気をもらいます。コロナ感染防止のため、あちこちで人が繋がるのが制限されている時ですが、だからこそ、行き交う一時の一言であっても、お互いに交わす挨拶はとても貴重な繋がりの一場面となっています。私にとってこれは、朝の大きな楽しみです。人と人との繋がりは一人一人の人格の出会いからです。福音の宣教・伝道もそこから始まり、それが積み重なっていくのだと改めて思います。皆さま、どうぞご自愛ください。